

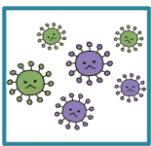


にしだ小児クリニック 併設

病児保育室 クオレ

B 型 インフルエンザ

流行のお知らせ



B 型 インフルエンザ

● 主に、人の間で流行するインフルエンザには A 型と B 型があり、それぞれ 2 種類あります。同じシーズンの中で A 型インフルエンザに 2 回感染したり、A 型インフルエンザと B 型インフルエンザにかかったりすることがあるのは、このためです。

また、それぞれの細かい型に対する免疫反応(抵抗力)は少しずつ異なるので、人はインフルエンザウイルスの変異に追いつけず、何回もインフルエンザにかかることがあります。

● B 型インフルエンザは A 型ほど爆発的な増殖ではなく、発熱がやや緩やかなケースがみられます。

〈 症状 〉 鼻水や咳といった上気道症状。腸管で増殖しやすい性質があるため、腹痛や下痢、嘔吐などの消化器症状が比較的多いことが知られています。

B 型は特に子どもで症状が強く出やすく、一度解熱した後、再び高熱(二峰性発熱)が出ることがあります。

〈 感染 〉 感染者の咳や鼻水、唾液などに含まれるインフルエンザウイルスを吸い込む「飛沫感染」、ウイルスが付着した手で、口や鼻、目などの粘膜を触れることで感染する「接触感染」です。インフルエンザにかかって、「せき」などの症状のある方は、特に、周りの方へうつさないために、マスクを着用しましょう。

その他 ノロウイルス、RS ウイルス

ノロウイルス

〈 症状 〉 嘔吐、発熱、下痢、脱水。 子供さんに比べ、年齢の高い人ほど症状はきついです。

〈 感染 〉 ノロウイルスに感染した人の、ふん便や吐瀉物からの二次感染があるので、汚染された場所は、次亜塩素酸ナトリウムで消毒してください。廃棄物は、ビニール袋などで、密封してください。

RS ウイルス

〈 症状 〉 発熱、鼻汁、咳など風邪に似た症状で、通常は数日から 1 週間くらいで、徐々によくなります。

重症化すると、気管支炎や肺炎の兆候が見られ、中には呼吸困難を起こして入院することもあります。

〈 感染 〉 RS ウイルスが付着した手などを介する「接触感染」と、咳やくしゃみの飛沫で感染する「飛沫感染」で広がります。生後数週間 ~ 数カ月間に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがありますので、特に乳児期早期のお子様の場合は、感染を避けるための注意が必要です。